

平成 28 年 8 月 11 日

歯科・口腔外科受診患者様各位

研究について

東京歯科大学市川総合病院歯科・口腔外科では診療の中で得られた検査や症例情報を、治療方法や薬剤等の効果を分析研究し今後の治療に対し有益、重要な情報と判断した場合には、学会・論文等において発表することがございます。今回、以下に記す内容で研究を行うこととなりました。研究にあたり、当病院の倫理審査委員会の審査を経て病院長の許可を得ております。プライバシーに関しては、個人が特定されないよう匿名化する等、細心の注意をはらってまいります。研究に関しての拒否やご質問などございましたら御連絡頂けると幸いです。なお、拒否の際に、不利益を被ることはございません。

記

1. 研究期間 : 平成 28 年 9 月 1 日(木)から平成 28 年 12 月 1 日(木)
2. 研究課題 : クロナゼパムが奏功した口腔灼熱症候群(Burning Mouth Syndrome)の臨床的統計
3. 対象者 : 平成 22 年 4 月から平成 25 年 3 月の 3 年間に口腔の灼熱感を主訴に歯科・口腔外科を受診し、クロナゼパム(商品名:リボトリール)を内服し、症状が緩解した 20 名の患者様
4. 研究内容 : 非歯原性疼痛は原因の追求や治療計画の立案に難渋することが多く、その中に口腔の灼熱感を自覚する口腔灼熱症候群(Burning Mouth Syndrome) があります。クロナゼパムは BMS に対し効果を認める薬剤であるとされていますが、本邦における検討は十分ではありません。今回はカルテの中から①性差、②年齢、③職業、④主な疼痛発現部位、⑤発症から来院までの期間、⑥投与後 2 週間での効果、⑦奏功量、⑧経過、⑨投与期間について調査し、今後の治療の一助となることを目的としております。

東京歯科大学 市川総合病院

千葉県市川市菅野 5-11-13

047-322-0151

歯科・口腔外科 野村武史

東京歯科大学 水道橋病院

東京都千代田区三崎町 2-9-18

03-3262-3241

口腔外科 西山明宏